

令和 5 年 10 月 10 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名・・・医療法人 仁風会 雲陽の里

サービス種類・・・認知症対応型共同生活介護事業所

会議開催日・・・令和 5 年 9 月 12 日

開催場所・・・地域活動支援センター ビ・フレンジィング

出席者

事業所	1 人	利用者	人
利用者家族		地域代表者	3 人
松江市職員		包括支援センター	1 人
知見を有する者		その他 ()	人

活動状況報告

1) 入所状況について

- ・1名退院(90代女性:要介護2) 離院傾向での入院だったが体調不良もあり活動性が低下しているとの事、気候的にも外に出ようとされる傾向は減っているが他室訪問は変わっていない。
- ・転倒骨折が原因で車椅子生活になった90代女性、介護保険の変更申請の結果、要介護2→4特養申請して施設待機になっている。

2) 生活状況・活動報告

- ◎訪問看護について、2～3回/月 外来看護師1名が来所して都度全員の様子をみてもらっていたが、連携病棟との関係強化も検討し4回/週 外来看護師+連携病棟看護師の2名で1回に2名程度をしっかりとみてもらうように8月より変更した。
- ◎病院受診については感染予防対策をしながら対応継続中。
- ◎7/20、21「災害発生時の初期対応」職員4名参加
- ◎7/27、31「AEDの使用方法・CPRの実技」職員4名参加
- ◎9月「褥瘡について」「行動制限の基本」研修予定だが感染の状況によっては資料研修になる。
- ◎7月頃に面会方法を緩和したがその後の感染状況によって以前の対応に戻している。

3) インシデント(11件)内容と対策について報告。

11件中転倒・転落に関するものが6件、特定の方にあるわけではなくそれぞれに要因があり職員に対して観察と危険予知について話している。

4) 身体拘束等虐待に関する報告について

- ・該当する事案はない
- ・法人全体として虐待通報システムを整備し、8月から本館職員玄関内に施錠したポストを設置し虐待通報連絡票で報告するようになっている。

意見交換

事) 敬老の日も近い事から 9/22 に敬老会を計画している、まだ外部のボランティアさんに入ってもらえないので、大庭公民館より紙芝居を借りてくるなど担当職員が工夫しているようだ。

退院して戻られた方についても、以前よりは外に関心が向かない様子なので何とか対応できているが、今後暑さが落ち着き季節がよくなってくると不安は残っている。

地) 前回話に出ていた家族について、その後必要な物が購入できるようにお金を渡してもらえたか？

事) 利用料の引き落としが出来ず遅れて入金になる状況が続き預かされていない。

地) 利用料がもらえていればいいという事ではないと思う。対応すべきではないのか。

事) こちらの対応が遅れている、早急に対応をする。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価をうけることができたか	
<input type="checkbox"/> 要望・助言等を受ける機会を設けたか	